

岐阜県立 Gifu Academy of Forest Science and Culture

森林文化アカデミー

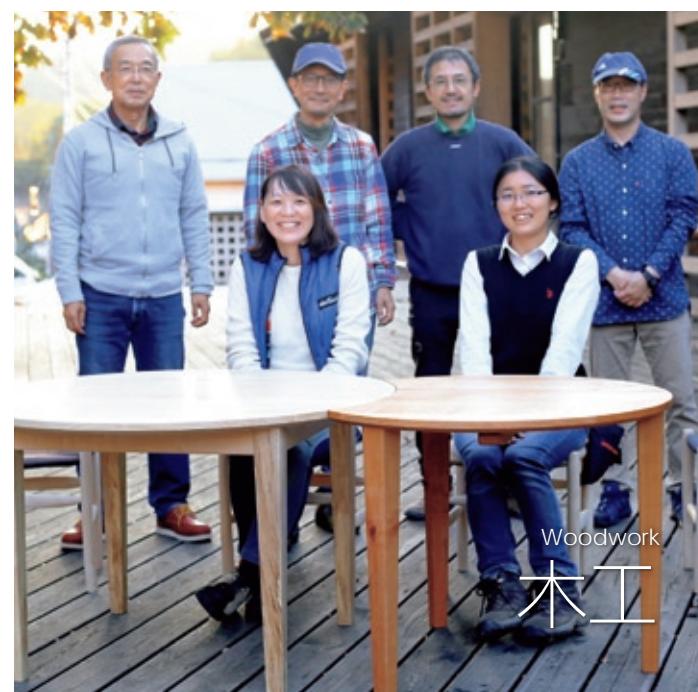


森と木の クリエーター科

2022年度 入学案内
対象 22歳以上



プロフェッショナルになる。森と人と文化の交差点で。



森と木のクリエーター科

5つの特徴



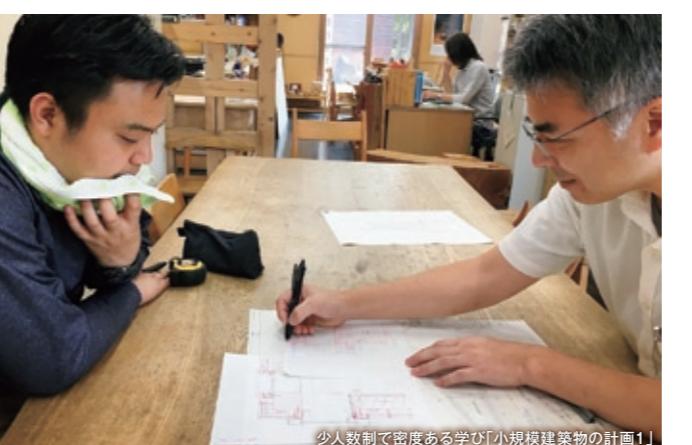
1 平均年齢は36歳 22歳から60歳代まで、幅広い世代が集う

森と木のクリエーター科は、大学卒業または社会人経験者が対象。つまり、大学院のような学科です。入学時の平均年齢は36歳。(2020年度末集計) 森や木に関わる仕事がしたい、地域社会に貢献したい、と考える人が、スキルを身につけるために全国から集ってきます。前職で身につけたスキルも、新しい生き方や働き方に必ず役立ちます。



2 クリエーター科学生数:教員数=2:1の少人数制 進路に合わせて組み立てるカリキュラム

全学生数は80人。その半分がクリエーター科で、学生と教員の割合は2:1。県立の学校ならではの贅沢な学びの環境が用意されています。少人数の強みを最大限生かして、活発なディスカッションや実習が行われます。カリキュラムは画一的なものではなく、学生1人1人がめざす進路に合わせてチョイスし自ら組み立てていきます。大学や社会人経験を経て、目的が明確になっているからこそできる学び方です。



3 森と木をキーワードにつながる 他校にない幅広い分野とネットワーク

林業、森林環境教育、木造建築、木工という異なる4分野がつながっている学校は、全国でも他にありません。森から木へ、さらに人の暮らしへと続く流れの中で学ぶからこそ、深く理解できことがあります。また、豊富な森林資源を生かした林業が盛んなことに加え、飛驒の匠の歴史が示す通り、木材利用の面でも優れた産業があります。県内市町村と連携協定を結んでおり、地域のさまざまな産業とのつながりも、岐阜県ならではです。

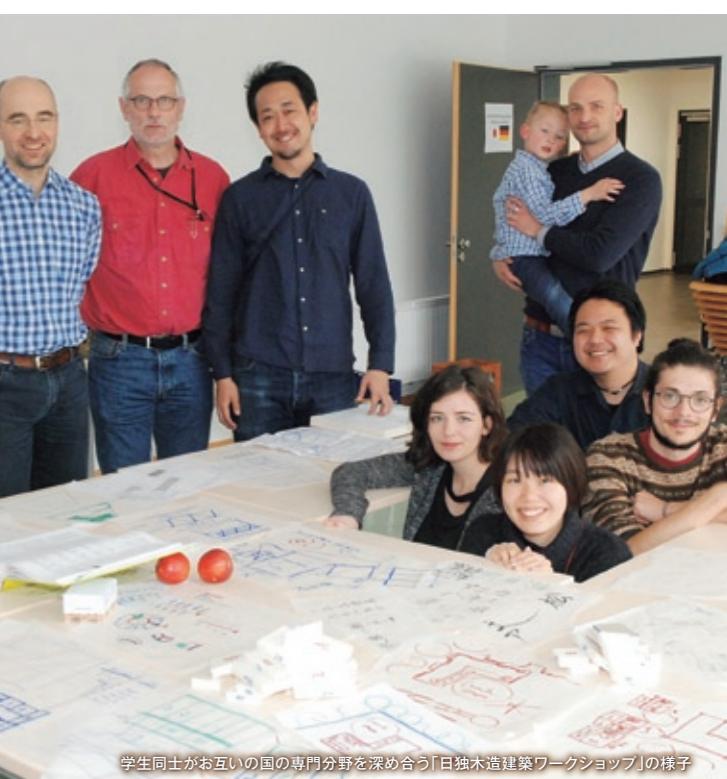
4 社会の課題解決と自らの夢の実現をめざす 課題研究

クリエーター科の学生は2年次になると、自ら課題を設定して研究に取り組みます。社会人経験がある学生も、大学卒業後すぐアカデミーにやってきた学生も、テーマは「自分が学んできたことを生かして、社会の課題をどう解決できるか」。1年間をかけて実践する課題研究は、卒業後の就職や起業へ向けた助走でもあります。



5 ドイツ・ロッテンブルク大学との交流で 国際的な視野を身につける

平成26(2014)年、森林文化アカデミーはドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク(BW)州のロッテンブルク林業大学との間で連携協定を締結しました。林業、森林環境教育、木造建築など、アカデミーと同じような学科構成を持ち、州の森林官(フォレスター)をはじめとする人材育成を行っている大学です。両校の間では教員同士の交流、研究活動の実施、学生の相互派遣などを行っています。ドイツに学び、グローバルな視野を獲得できます。



林業専攻

森林利活用分野

Forestry

森林の多様な機能を高度に発揮させ 維持することのできる 森林経営の専門家を目指す

林業専攻では、多様な森林経営を構築するための考え方や技術を学びます。森林が持つ木材生産機能と様々な公益的機能を発揮させるには、健全な森林経営と適正な施業技術が欠かせません。また、これからの林業界には木材生産・木材流通の多様性が求められます。こうした要請に応えるためには、中・長期的な視野に立った森林施業に立脚した森林経営が必要であり、また、木材需要と木材供給をつなぐコーディネートが重要となります。多角的な視点で森林・林業・木材流通などを学び、これらの時代をリードする専門家を目指します。



特色 1 エビデンスをもって多様な現場に応えられる力を身につける
自然科学を基礎とした技術的合理性、木材需要を考慮した経済的合理性を根拠とする、現場対応型の施業技術を学びます。



特色 3 豊富な施設、機材を使った現物の学びを学内で提供
高性能林業機械、集材機、製材・加工施設から炭窯まで、豊富な施設、機材等を有し、林業の一連の流れを学内で実習できます。

取得を目指す主な資格

- 森林総合監理士(フォレスター)
- 森林施業プランナー
- 技術士(森林部門・環境部門)
- 林業技士
- 森林情報士
- 狩猟免許など

卒業後の進路

半数を超える卒業生が、川上側で森林管理や木材生産など直接的に林業に関わる仕事を就いています。その多くは、林業事業体や森林組合で現場経験を積み、森林施業プランナーなど次のステップを目指します。家業の林業経営や事業体経営を継ぐ人、NPOを立ち上げ地域の森林管理を担う人もいます。また、川中・川下側において、森林・林業の理解者として、木材流通や木材加工の仕事に就いたり、公務員として林業をサポートする仕事に就く人もいます。



森林環境教育専攻

森林利活用分野

Environmental Education

森の空間と資源を活かした 「教育」「保全」「地域づくり」のプロを目指す

「森づくりは、人づくり・地域づくりから始まる」をモットーに、森林空間を多面的にとらえ、森のすばらしさを「伝え」、地域の森を「デザイン」と「保全する」プロを育成しています。「コミュニティと起業」「里山マネジメント」「公園の管理運営」「森のようちえん&森林教育」の特色ある4つの学びに担当教員を配して、次の3つのステップで学びます。①基礎から応用までの科目履修、②自主的な学びと社会実践のためのアクティブラーニング、③担当教員とマンツーマンで卒業後の強みをつくる課題研究。



持続可能な暮らしのデザイン「バーマカルチャー」



特色 2 現場で今までに生じている課題に取り組む
例えば獣害対策など、いま現場で起きている問題を解決するための方策を理論と実践の両面で学びます。



特色 1 コミュニティと起業
森林空間や里山資源を利用する伝統技術を調査し、新たな活用法を事業化することで、コミュニティ活性化や環境保全を進める地域づくりのプロ、起業を目指す人を育てます。



特色 2 里山マネジメント
自然科学の知識や生物の同定技術を身につけ、里山をモデルに人と自然の関わりを描き、自然を調査・保全管理できる人を育てます。



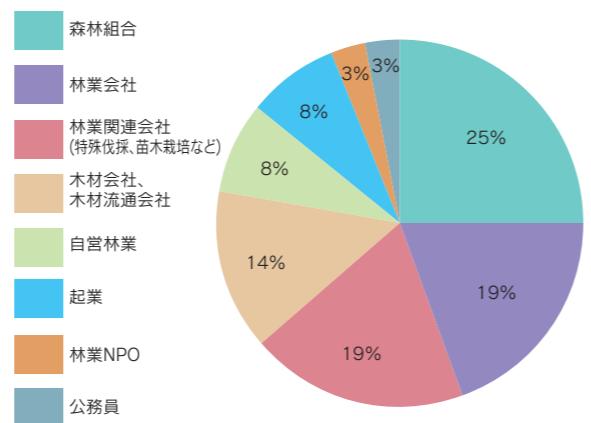
特色 4 地域の行政、林業・林産業関係者が学びを支援
地域の行政や林業・林産業関係者との連携、協力により、プロジェクトや試験研究への参加など、様々な実習フィールドが確保されています。



特色 3 公園の管理運営
自然公園・都市公園の管理運営を行う分野で、環境教育プログラムの企画運営や公園緑地の管理を担うプロの育成を、現場経験豊かな教員が指導します。



特色 4 森と人をつなぐ指導者
学内にオープンした森林総合教育センター「morinos(モリノス)」が展開する森のようちえんやキャンプ、ブレーキャーク、企業研修、イベント、出前授業などリアルな現場を舞台に、知識と技術を持った森と人をつなぐプロの指導者を育成します。



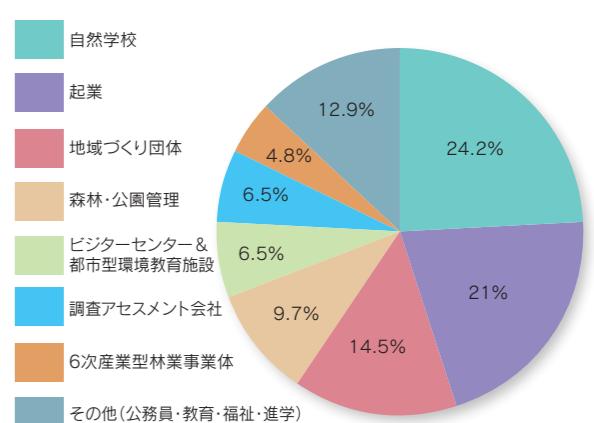
取得を目指す主な資格

- 森林インストラクター
- ネイチャーゲーム指導員
- キャンプインストラクター
- インタークリター研修
- 救急救命士
- 自然観察指導員
- 生物分類技能検定2級
- 保育士
- 岐阜県コミュニティ診断士
- ワークショップデザイナー

*カリキュラムで取得を保証するものではありません。

卒業後の進路

全国に4000校ある多様な自然学校スタッフ、森のようちえん指導者・アドバイザー、自然公園のビジターセンタースタッフ、エコツーリズム団体のガイド・コーディネーター、都市公園の指定管理団体、自然環境コンサルタント、森林空間を活用した6次産業型の林業事業体、森林空間や里山資源を活用した起業者、その他(公務員、教育団体、福祉団体、大学院進学など)



木造建築専攻

木材利用分野

Wooden Architecture

木造建築の楽しさと奥の深さを知り、
新しい時代を見据えた高度な技術を習得し、
一流の設計者を目指す

木造建築専攻は、木の建物の美しさ、快適さ、奥の深さ、そしてそれをつくる楽しさを知ることができる学びの場です。日本でも唯一の「木造」に特化した、超実践的な学びを行なっています。特に演習林の木を使って建てる「自効建設」は森林資源の「川上」を意識した、他にない貴重な実習です。「実践プロジェクト」では専門教員と共に、実際の実務を通して、高度で最新の技術を身につけ、誰にも負けない特技を持ったプロフェッショナルを目指します。



特色1 実践を通して学ぶ「自効建設プロジェクト」

入学してすぐに、学生が自ら設計・施工で小さな建築物をつくります。演習林から伐出した樹木を製材・墨付け・刻みし、1年かけて竣工します。



特色2 リフォーム時代の必須科目「木造建築病理学」

木造建築・住宅に関する調査手法や、定量的な性能評価、説明力などの改修技術を体系的に学びます。2006年に森林文化アカデミーから始まった、これからの設計者に求められる必須技術です。



特色3 社会で求められる実践力「地域実践プロジェクト」

学外の建築実務者と協同で行います。住宅の設計・監理や構造試験、木材強度試験など、実際のプロジェクトに参画します。



特色4 次世代版設計の先取り「木造建築の性能設計」

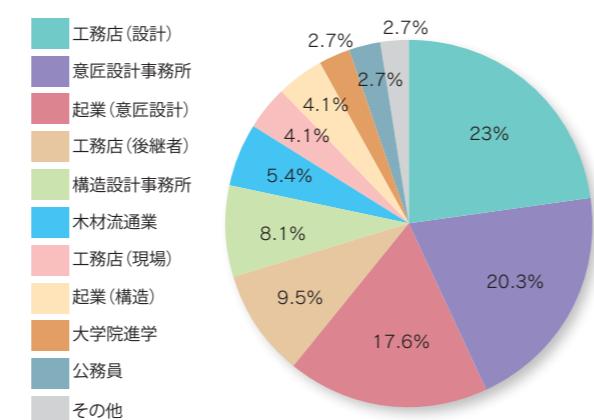
現状の設計手法はもちろんですが、将来の実務で役立つように構造設計、省エネ設計、防耐火設計など木造建築の性能設計の手法を学びます。

取得を目指す主な資格

- 木造建築士(卒業後、すぐに受験・免許取得可能)※所定科目を修了した場合
- 2級建築士(卒業後、すぐに受験・免許取得可能)※所定科目を修了した場合
- 1級建築士(卒業後、すぐに受験可能。実務経験4年で免許取得可能)
※所定科目を修了した場合

卒業後の進路

卒業後は、「木材や林業に明るい」「自分の強みを持っている」という特徴を持った建築士として活躍しています。
1)地元産の木材利用を意識している、2)木構造に明るい、3)省エネルギーに強いなどの特徴を持つ設計事務所、工務店へ就職しています。さらには、自分の理念や強み(例えば構造が得意)を活かしての起業や、事業の後継者(例えば家業の跡取り)として活躍する人もいます。地元産の木材の上手な使い手となることは、林業を支え、山村の振興に繋がります。



木工専攻

木材利用分野

Woodwork

地域材を生かした木工製品の企画・製作や、
木工教室の運営など、資源に技術で付加価値
をつけ、地域を豊かにする専門家を目指す

木工専攻では手工具や機械を使い、小物から家具に至るまでの製作全般を学びます。初めて木工を学ぶ人が技術を安全に身につけられるよう、様々な実習が用意されています。しかし技術の習得はあくまで手段。目的は、身近な森林資源により高い付加価値をつけ、新たな人やお金を呼び込み、地域を元気にすることです。その土地ならではの素材や文化を生かした木工製品づくりを実践的に学びます。また、木工教室や木育の活動など、ものづくりを趣味として楽しみたい、森や木に触れて心を豊かに育みたいという需要に応えるため、講座を企画運営できる力を身につけます。



課題研究で製作した木製玩具



特色1 手工具、木工機械を一から習得、基本技術を磨く

手工具でスプーンや箸、木工旋盤でお椀や皿、木工機械で小箱やテーブル。1年次では自分が使うものを作りながら、基本技術を身につけます。



特色2 多様な地域材を使った製作実習

スギやヒノキなどの針葉樹から里山の雜木まで様々な木を使った製作実習を行い、商品化まで体験します。日本各地の森林で課題となっている地域材の活用方法を実践的に学びます。



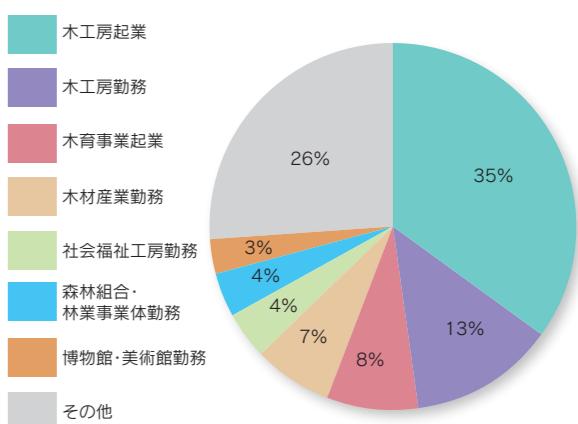
特色3 全国で人気のグリーンウッドワーク、指導技術を学ぶ

伐ったばかりの生木を斧やナイフで削り、スプーンや椅子などを作る木工です。国内や海外から講師を招いて特別講座も行っており、講座運営のノウハウも学ぶことができます。



特色4 木工や木育教室を運営する指導スキルを学ぶ

カルチャースクールだけでなく教育や福祉、子育て支援など、幅広い分野でニーズが高まっている木工、木育教室。現場での経験を通して、プログラム開発や指導技術を磨きます。



取得を目指す主な資格

木工や木育を実践するため必要な資格は、特にありません。森林文化アカデミーで木工を学んだ卒業生の中には、岐阜県から「ぎふ木育推進員」を委嘱され県内各地でさまざまな木育活動を行っている人たちがいます。

卒業後の進路

一般的な木工の専門学校(職業訓練校など)に比べ、多様な進路があります。卒業直後に木工房を自ら起業して地域材を生かした新しい製品をプロデュースしたり、そのような工房等に勤務したりする人が多いです。木工・木育講座を企画運営するNPO法人を自ら立ち上げる人もいます。木材の流通に関心を持ち、製材所、銘木店、住宅建材の加工業などに勤務する人もいます。また、森林組合で地域材の普及や木育の活動に関わる仕事をする人もいます。

学びの場としてのアカデミー、そして岐阜県。

岐阜は木の国、山の国。

標高0mから3000mまで全国有数の多種多様な森林を有する岐阜県。豊かな森の恵みを活かし、学びのフィールドとして活用しています。



県北部の飛騨地域は、日本有数の家具産地。県南部の美濃地域は和傘や水うちわなど、豊富な森林資源を活かした伝統工芸が盛んです。

森林率第2位、製材所の数は1位！

岐阜は全国でも有数の広葉樹の集積地！丸太や銘木を扱う市場を気軽に見学できます。



過去最多の移住者数を更新！(H30年度)

重要伝統的建造物群保存地区が建築技術と町づくりを通してコミュニティの在り方を教えてくれる！



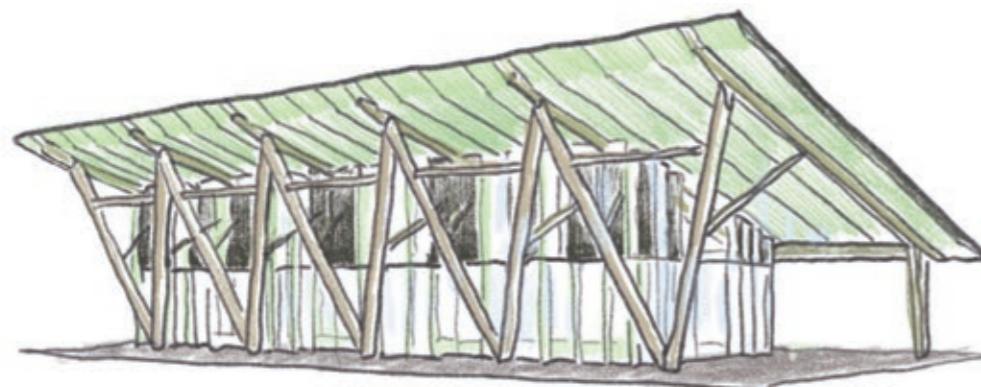
演習林にはきのこや山菜など豊富な里山資源！



林業から、森林環境教育、木造建築、木工へ。森の木が暮らしに届くまでを一望できる現地現物主義の学びの場。

進化する教育施設。

学びに必要な機能を増設！自力建設でパワーアップする校舎！



すべての人を森につなぐ！森の入り口「morinos」開設！木材利用優良施設コンクール「林野庁長官賞」受賞



世界で15の賞を受賞した木造校舎群が持つ優れた教育力！

林業・森林環境教育・木造建築・木工それぞれの分野で、森林文化アカデミーで学ぶメリットがあります。



全国の林業系学校でも随一の学内製材機で“木”を“木材”にする極意を学ぶ！

もちろん高性能林業機械も充実！

「川上」から「川下」まで森林資源の流れのすべてを学内で実現。

教員紹介



全学生数80人に対し、常勤教員が17人。ユニークな専門家たち。森と木に関わるアカデミーだからこそ、新しい試みや学びが次々に生まれます。



IKEDO Hidetaka
教授 | 池戸 秀隆
専門分野 | 林業機械・森林土木
チエーンソー、高性能林業機械、林業架線を用いた林業実習を行います。
Quercus serrata コナラ ブナ科コナラ属



TSUDA Kaku
教授 | 津田 格
専門分野 | 菌学・線虫学
きのこなどの特用林産物の利用と森林保護。
菌を通して森林利用を考える。
Aesculus turbinata トチノキ ムクロジ科トチノキ属



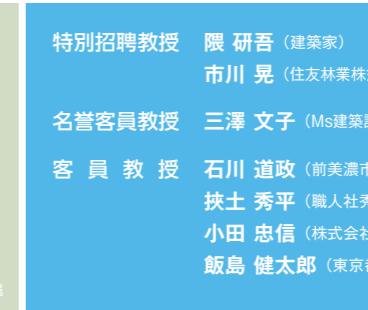
NIITSU Yutaka
講師 | 新津 裕
専門分野 | 森林空間の利活用
森林獣害・森林教育
施業と森林の空間利活用から森林の持っている価値を見直す。
Cerasus jamasakura ヤマザクラ パラ科サクラ属



HAGIWARA Nava Yusaku
准教授 | 萩原・ナバ・裕作
専門分野 | 自由な遊び & 自由な学び
環境教育 インターブリテーション
森のようちえん、ブレーバーク、
インター・ブリテーション、
バーマカルチャー。
Magnolia obovata ホオノキ モクレン科モクレン属



TANIGUCHI Goro
講師 | 谷口 吾郎
専門分野 | 公園やビジターセンターの管理運営
環境教育・インター・ブリテーション
森・自然と人が出会う場として
自然公園・都市公園の在り方を探る。
Acer sieboldianum コハウチワカエデ ムクロジ科カエデ属



MATSUI Takumi
講師 | 松井 匠
専門分野 | 伝統構法でつくる現代の家づくり、
古民家再生、空き家対策
木組の家づくり、古民家の再生、
建築・ものづくりにおける美術教育。
Acer pycnanthum ハナノキ ムクロジ科カエデ属



TAMAKI Ichiro
准教授 | 玉木 一郎
専門分野 | 森林生態学・分子生態学・
集団遺伝学
森林遺伝学：遺伝子をツールに
樹木の暮らしや歴史を明らかにします。
Ailanthus altissima ヤハズハンノキ カバノキ科ハンノキ属



SUGIMOTO Kazuya
准教授 | 杉本 和也
専門分野 | 林業における生産システム
森林作業における生産管理
伐採搬出作業におけるシミュレーション
持続可能な林業は
森・人・組織のマネジメントから。
Quercus acuta アカガシ ブナ科コナラ属



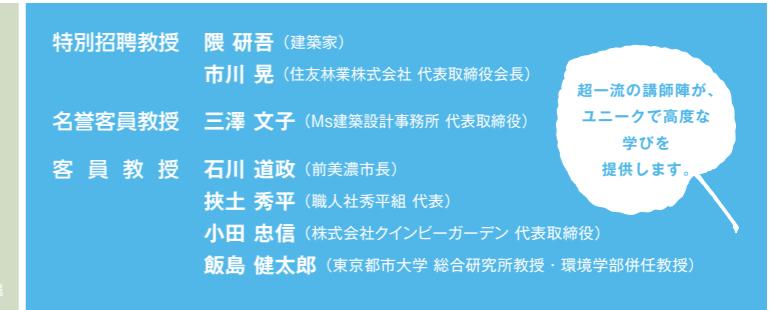
HAGIWARA Nava Yusaku
准教授 | 萩原・ナバ・裕作
専門分野 | 自由な遊び & 自由な学び
環境教育 インターブリテーション
森のようちえん、ブレーバーク、
インター・ブリテーション、
バーマカルチャー。
Magnolia obovata ホオノキ モクレン科モクレン属



TSUJI Mitsutaka
准教授 | 辻 充孝
専門分野 | 木造建築設計・温熱環境・
省エネエネルギー
木を活かす建築設計、
健康・快適性向上の温熱環境計画、
省エネ計画が専門。
Lindera trijuga シロモジ クスノキ科クロモジ属



WATANABE Kei
講師 | 渡辺 圭
専門分野 | 木工・家具製作
家具作り、木工ワークショップを通じて
木材利用、地域材の活用を考える。
Lindera obtusiloba ダンコウバイ クスノキ科クロモジ属



超一流の講師陣が、
ユニークで高度な
学びを
提供します。

入学金・授業料

	入学手続き時	前期	後期	計
入学金	282,000円	—	—	282,000円
1年時授業料	—	267,900円	267,900円	535,800円
2年時授業料	—	267,900円	267,900円	535,800円
合 計	282,000円	535,800円	535,800円	1,353,600円

給付金制度

岐阜県縁の青年就業準備給付金

卒業後、林業分野^{*1}へ就業し(就業時年齢45歳未満)、その中核を担うことに強い意志を持っている者に対し、在学期間中、1年間に上限125万円(最大2年間)を準備金として給付する岐阜県の制度です。

対象となる就業先業種^{*1}

- | | | | |
|-----------|--|-------|--|
| 林業 | 1. 育林業
2. 素材生産業
3. 特用林生産業
4. 林業サービス業
5. その他の林業 | 林業従事者 | 1. 育林従事者
2. 伐木・造材・集材従事者
3. その他の林業従事者 |
| 木材・木製品製造業 | 1. 製材業、木製品製造業
2. 造作材・合板・建築用組立材料製造業
3. 木製容器製造業(竹、とうを含む)
4. その他の木製品製造業(竹、とうを含む) | | |

* 記載した奨学金制度・給付金制度は令和3(2021)年度の予定であり、変更される場合があります。
* 詳しくは岐阜県公式ホームページ「岐阜県縁の青年就業準備給付金について」をご覧ください。

美谷添奨学金

支 給 額 年額 105,000円

支給期間 1年間(1年時または2年時)

対 象 者 1学年1名ずつ(著しく優秀と認められる者)

岐阜県立森林文化アカデミー特別給費生制度

支 給 額 年額 560,000円

支給期間 1年間(1年時または2年時)

対 象 者 1学年2名ずつ(著しく優秀と認められる者)

市町村連携学生支援制度

森林文化アカデミーが連携協定を結んでいる市町村から、条件付返還免除のある授業料無利子貸付など多数の学生支援制度が設置されています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



Access

自動車



公共交通機関



ウェブサイト Web site

森林文化アカデミーについてもっと詳しく!
学校のポリシー、入試情報、授業の様子や卒業生インタビューなど内容充実のHPです。

<https://www.forest.ac.jp/>

Facebook YouTubeチャンネル



GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE 岐阜県立森林文化アカデミー

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529
E-mail info@forest.ac.jp

募集要項の請求

メール、電話等にて森林文化アカデミー事務局まで請求(無料)してください。
または、アカデミーホームページから様式をダウンロードしてください。